

2012.3

第102号

社協だより

福祉わくや

『人生は
出会いあるからこそ
楽し』



一人暮らし高齢者ふれあい事業「さくら会」(2月3日)

参加者の作った作品を「見て」「触れて」「力をもらって」大感動!!

◆◆◆ 第102号の主な内容 ◆◆◆

- ★Pick up社協事業2
- ☆地域ふれあい活動紹介コーナー3
- ★ボランティアセンター通信4~5
- ☆平成23年度共同募金運動結果報告6
- ★ゆうらいふ通信7
- ☆社協インフォメーション8

編集・発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 涌谷町社会福祉協議会

〒987-0121 宮城県遠田郡涌谷町涌谷字新下町浦192番地

涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」内

TEL(0229)43-6661 FAX(0229)43-6670

E-mail:shakyo@wakuya-sfk.net

ホームページ: <http://www.wakuya-sfk.net/>

●●● Pick up 社協事業 ●●●

小地域福祉見守りネットワーク研修会を開催!! (3月2日)

一人暮らし高齢者や障害のある人、寝たきりの人やその介護者など、援助を求めている人への見守り・声かけ活動を小地域単位で地域福祉会長等を中心に展開しています。今回は、小地域内での連携強化を目的に研修会を開催しました!



「ソーシャルワークを活用した見守りネットワーク活動の方法と展開について」と題し、東北文化学園大学 医療福祉学部 教授の豊田正利先生を講師に招き、講義・演習をしていただきました。

※ソーシャルワークというものを援助される側の視点から事例を交えて紹介していただくことで、普段の見守り活動やサロン活動でも活かせる研修となりました。各地域で見守りのカタチは多種多様であり、画一の支援では効果的な見守り活動の展開は難しいため、社協としても細やかな支援をしていければと考えています! お困りのことがあれば、お気軽にご相談ください!!



※ソーシャルワークとは・・・社会福祉実践活動のことで、人間がよりよく生きていけるようになることを目指し、社会に問題があれば社会を変え、人間関係に問題があればその問題を解決し、人々が本来持っている力がうまく出せるように支援すること。

あったかい夕食お届けします!

『配食サービス事業』～食をとおしての見守り～

社協では、涌谷町から委託を受け「配食サービス」事業を実施しています。

「配食サービス」は、栄養バランスを考えた食事の提供とともに利用者の皆さんの見守りを行い、様々な生活困難を抱える方も安心して在宅生活を送れるようサポートをしています。

食事のお届けは、ボランティアが行っており、直接利用者へ受け渡しをすることで利用者の安否確認をしております。また、必要に応じて民生委員や関係機関等の協力をいただき連携を図って利用者の見守りをしています。

利用にあたっては、申請が必要となりますので、ご希望される方は、町健康福祉課へ連絡願います。

実施日：月・水・金 ※祝日、年末年始を除く

内容：夕食のお届け・利用者の安否確認

対象：町内在住の生活困難を抱えた方で概ね65歳以上の単身世帯の方、高齢者世帯の方等

利用料：1食500円

まずは地域の民生委員さんやケアマネジャーさんに相談してみるといいですよ!

【申請窓口 町の健康福祉課 (TEL: 43-5111)】

私たちの生活サポートコーナー

『日常生活自立支援事業まもりーぶ』

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの方々に、自己決定能力が低下している方に、地域の中で自立した生活が送れるように、暮らしの支援をしています!!

どんなことができるの??

福祉サービス
利用のお手伝い

書類のお預かり
(契約によりサービスの
提供を行います)

日常的な
金銭管理のお手伝い

【利用料金】

- ・基本料金...700円/月
- ・サービス料金...500円/30分
- ・お預かりサービス...300円/月
- ・サービス提供に係る旅費...移動距離に応じて。
- ※サービス料と旅費は減免の場合あり

『生活復興支援資金の貸付について』

今回の震災で被災した低所得世帯に対し、当面の生活費や住宅補修費用に関する貸付を行っています。また、震災関連以外の資金等のご相談につきましてはお住まいの地域民生委員にお願いいたします。

◇問合せ先：涌谷町社会福祉協議会 地域福祉部 (TEL: 43-6661)

地域 ふれあい活動 紹介コーナー

〈地域から提出して頂いた報告書
(レポート)等を掲載しています。〉

11区『クリスマス会』

12月10日(土)

今年のクリスマス会は70歳以上の方々に参加をして頂きました。参加された方からは「おいなりさん・豚汁美味しかったよ!来年の献立も楽しみ!!」「プレゼントも嬉しかったよ」と言っていた頂きました。福祉推進員としても初めてのサロン活動で「楽しかったよ」の声にとっても嬉しく、失敗もありましたが平成24年に向け無理せず頑張ろうと思えます。



10区『クリスマスプレゼント』

12月23日(金)

自宅を訪問することで、地域の行事等に参加することが難しい方とも直接ふれあい、言葉を交わすことが出来るので、福祉推進員等とも顔なじみになり、年末の安否確認も兼ねるので良い行事になっています。



2の2区『世代間交流ふれあいパーク』

～世代間交流しめ縄づくり～

12月25日(日)

しめ縄づくりに地元の先輩を講師に迎えたこと、事前に練習会を実施した事なども功を奏し、当日は和気あいあいとスムーズに進める事ができました。同じ地区に住みながらなかなか顔を合わせる機会がない子どもたちや年配の方々との交流は大変ほほ笑ましく恒例行事として続けてほしいとの声も聞かれました。



下小塚区『一人暮らし高齢者宅訪問』

2月5日(日)

事前に訪問の日時を連絡してから訪問したので、皆さんお茶を準備して待っていてくれました。殆どの方がお元気で、プレゼントも大変喜んでいただきました。今年は自治会役員さんの手作りのプレゼント(竹の風車)もお渡しし、時間をかけて、健康のことや生活面についても様子をお聞きすることができました。



大谷地区『お茶っこ飲み会』

2月18日(土)

老人クラブと健康推進員、福祉推進員の共催でお茶っこ飲み会を実施しました。今回が第一回目の開催で、今後は毎月第3土曜日に実施していきます。参加して下さった方からは「こういう風に集まることのできていいね」との声が聞かれ、和やかな雰囲気のお茶っこ飲み会でした。



ぼらんていあさんが通る

ボランティア活動 大きな手 小さな手

淡島団地サロン “ふらっと”

被災して淡島団地に転居された方の交流の場として、12月よりボランティアの皆さんに協力をいただきながらサロンを開催しています。

12月 風船でクリスマスリース

個人ボランティア安部さんの究極の技に
「えっ、これが風船でできるの!」と驚きの声



1月 マジックショー!!

ボランティアグループ「ミラクル手品」によるマジックショーは拍手喝采となり大好評でした。
また、ハンドマッサージボランティアや参加者の話に耳を傾けるボランティアも大活躍しました。



2月 レクリエーションで心と体が大笑い

「地域活動支援ボランティア 1・2・3」と一緒に童謡に合わせ、
指の体操や肩たたきをしました。
ひな祭り版の福笑いもあり、会場は大笑いの渦に包まれました。



多種多様・緊急性のあるニーズに対応してくださる 「ボランティアの会」のチーム力に感謝

グループホームゆうらいふ障子張り



年末で大変忙しい中、32枚の障子を、建具のプロの会員のもと、真っ白く張り替えていただきました。グループホームのみなさんは、気持ちよく新年を迎えることができました。

物資の仕分け



9月から継続して、避難者の方への物資仕分け作業をしていただいています。ボランティアの会のみなさんのチーム力に感謝しています。

ボランティアセンターみんなの学校

災害ボランティア研修会 (12/6)



また、女川町社協の生活支援員で、家を流され避難所生活を経験し仮設住宅で生活している黄川田さんに、3・11での体験談をお話していただきました。報道による情報と違い、津波による甚大な被害の状況と避難生活の大変さ、その中で家族の絆や地域の助け合い、全国からのボランティアの協力が復興への支えであり大きな力となっていることを知りました。

涌谷町危機管理班より台風15号に関して話題提供していただきました。参加者からは地区の防災組織の必要性和防災無線の設置についての要望がありました。

視覚・下肢の キャップハンディ体験 (1/31)



5年生：40名

視覚障害の体験では、視覚以外の五感を使って、目隠しをして見えなくても風を肌で感じたり、匂いで周りを感じたり、白杖を使って渡り廊下などを歩きました。

また、当日は車いすを使った下肢障害の体験もしました。

出前講座 月将館小学校福祉体験学習

聴覚障害の理解 (2/1)



福祉講話 (2/8)



4年生：46名

キャップハンディ体験と手話を手話の会「ダンボ」のみなさんに教えていただきました。

手作りの指文字表を使っての学習にとっても積極的に参加していました。

下小塚区の金山幸一さんから、病気で視覚障害になってからの事と盲導犬(パズー)との生活についてお話をいただきました。

初めて盲導犬と接した子供たちは、ペットと盲導犬の違いを知る貴重な機会となりました。

共同募金運動にご協力ありがとうございました。

平成23年度 歳末たすけあい募金運動 結果報告

(平成24年1月31日現在)



12月1日から歳末たすけあい募金運動が「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに実施され、町民のみなさまのあたたかいご協力により、たくさんの募金が寄せられました。

募金総額 2,108,647円

内 訳	金 額	件 数
戸別募金		
・一般世帯	1,987,461円	4,550件
・会社企業	102,043円	42件
篤志寄付	19,131円	窓口受付分 5件
そ の 他	12円	

今年の募金は経済的に支援を必要とする世帯及び避難生活を続けている世帯に民生委員を通じて「歳末たすけあい配分金」としてお届けしました。また、新潟県(株)小飯田工業様より新米(越後米)600kgの寄贈があり、併せて贈呈致しました。

＜配分内容＞

内 容	金 額 等	備 考
配 分 金	2,077,500円	生活困窮世帯 69世帯 (家族加算 62人) 避難世帯 123世帯
新潟県産越後米	576kg	192世帯 (1世帯 3kg)
地域福祉事業費	越後米 24kg 28,647円	避難者支援物資等 一人暮らし高齢者ふれあい事業
事 務 費	2,500円	封筒代

配分対象者及び配分額は歳末たすけあい配分委員会で決定され生活困窮一世帯18,500円と家族加算1人(世帯主除く)につき3,000円、避難一世帯5,000円を配分しました。

※生活保護世帯は配分対象外となっています。



平成23年度 赤い羽根共同募金運動 結果報告

(平成23年12月31日現在)



赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

10月1日から全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」では、町民のみなさまのあたたかいご協力により、たくさんの募金が寄せられました。

募金総額 2,827,801円

内 訳	金 額	件 数
戸別募金		
・一般世帯	2,378,378円	4,611件
・会社企業	54,000円	23件
学校募金	102,333円	15件
職域募金	218,361円	51件
街頭募金	56,157円	2件
募 金 箱	7,950円	8箇所
そ の 他	10,622円	窓口募金等 4件

平成23年度に集められた募金は、宮城県共同募金会を通じて翌年度(平成24年度)に民間の福祉事業(社協・福祉団体・ボランティアグループ等)や町内会活動支援(災害用備品等)に配分されます。

※配分先は、宮城県共同募金会配分委員会での厳正なる審査により決定されます。



～わたしたちは、あなた「You: **ゆう** (利用者: 家族: 地域住民)」と共に、
あなたの生活「Life: **らいふ** (生活: 人生: 生涯)」を大切にします～

ゆうらいふ
社会福祉法人 浦谷町社会福祉協議会

通 信



第7回 事例研究発表会

2月24日ゆうらいふの一大イベントである「事例研究発表会」を開催しました。

今年は6チームの発表があり、どの発表も力作揃いで甲乙つけ難い内容となりました。

「好きですっ！ゆうらいふ」をキャッチフレーズに、日頃何気なく行なっている業務の中からテーマを見つけ研究を行っています。

事例研究は、業務の本質を探る機会となり、また、他事業所の職員が有志で研究することで新たな視点を取り入れられるなど、業務改善や職場環境の改善につながっています。

来年の栄冠は誰の手に！！

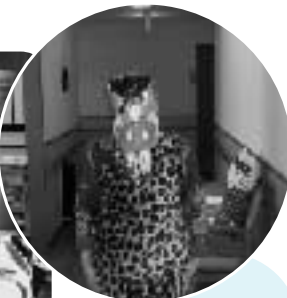


『赤鬼、青鬼、鬼は外、福は内』

～グループホーム～

節分の日恒例の豆まきを行いました。今回は、入居者の方に鬼に扮していただきました。あさひでは青鬼、ゆうひでは赤鬼になり、各部屋を回り、悪い事は起きないようにとの意味を込めながら、鬼を退治していただきました。

今年一年も、無病息災で過ごす事ができればと思います。



『皆で楽しく認知症予防』の取り組み ～デイサービス～

懐かしい道具に触れてみたり、昔の遊びの思い出にまつわる話をする事を「回想法」と言い、注目を集めています。

過去の記憶を呼び起こす事が脳へ適度な刺激を与え、認知症の予防と改善に効果があると言われています。

ゆうらいふデイサービスでも、職員が昔の“一斗枰 (いっとます)”や



“どじょうど”を持ち寄り、実際に取り組んだところ、普段の様子からは想像できないくらいに盛り上がり、皆さん目を輝かせて手に取っていました。

利用者から丁寧に使い方を教えて頂き、私達職員にとっても良い刺激になりました。

もし、ご家庭で懐かしい道具をお持ちの方がおられましたら、一度お貸しして頂きたいと思しますので、ゆうらいふまでご連絡をお願いいたします。

『健康に過ごせますように…ヨイショ！！』

～特別養護老人ホーム～

去る1月11日に“鏡開き”を行ないました。

1年の無病息災を祈りつつ、鏡餅をお汁粉にしてみました。

今年も元気に過ごせますように！



心温まる善意 ありがとうございました。

(平成23年11月18日～平成24年3月7日まで)

寄付金

- 佐々木長市氏 農事功績表彰受章
祝賀会事務局 様.....7,215円
- 9の1区 渡部 恵子 様.....10,000円
- 9の2区 佐久間喜美夫 様.....550円
- アルプス電気株式会社
アルプス電気労働委員会わくや支部 様.....100,000円
- 日向区 強谷 傳 様.....578円
- 脇 区 匿 名 様.....50,000円
- 匿 名 様.....20,000円

寄付物品

- 折り鶴の会 様.....手作り箸入れ120本
- 5の2区 田村正一 様.....紙おむつ等13袋

～利用者様満足度アンケート結果報告～

平成23年12月に実施しました、満足度アンケートの結果を、ホームページにて公開しております。今後も利用者様の貴重な意見を基に、「ゆうらいふ」を利用して良かった」と利用者様や家族様に満足して頂けるよう、サービスの向上に努めて参ります。

ご協力ありがとうございました。

～朗読テープの貸し出し～

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障害者の方、介護者の方など、お気軽にご利用下さい。

ボランティアグループ「あけぼの会」

【申込み・問合せ先】社会福祉協議会 TEL43-6661

東日本大震災から1年が経ちました。皆さんにとってはどんな1年だったでしょうか。私にとっては猛スピードで過ぎてしまった1年でした。当社協「ゆうらいふ」はいち早く女川や石巻へ行つての支援、また被災者の受け入れと職員一体となつての1年でした。まだまだ支援の力は抜けません。皆さんに支えられ、そして支えていく社協でありたいと思います。

絆づくりを進めるためにも、地域でのサロンや活動にお気軽にご参加ください。

広報委員

編集後記

社協インフォメーション

お問い合わせは☎43-6661まで

総合相談のお知らせ

生活相談所

日常生活で心配事、困りごとはありませんか？
お気軽にご相談ください。(秘密厳守！)

開設月日

3月28日(水)	4月25日(水)
5月23日(水)	6月27日(水)

- ★相談員：全日程とも「生活相談員」2名体制
 - ★相談時間：午後1時から午後3時
 - ★相談場所：高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」相談室
- ※相談日以外にも、ご相談受けします。
その時は事前に予約が必要です。

みんなのサロン

社協では、集いの場として下記のサロンを開催しています。

「エフロンおばさんと遊ぼう広場」

子育てしている方がお子さんと一緒に集える場です。

遊び場 仲間作り 子育て相談

- ★開催日：毎週木曜日
- ★時間：10:00～11:30
- ★場所：ゆうらいふ「研修室」
- ★対象：未就学児と保護者
- ★参加費・申し込み不要



ふれあいサロン『おしゃべり広場』

精神障害をお持ちの方、心に不安を抱える方の集いの場です。

喫茶活動 仲間作り 憩いの場

- ★開催日：第4水曜日
- ★時間：9:30～11:30
- ★場所：ゆうらいふ

「喫茶コーナー」

★参加費・申し込み不要

お気軽に遊びに来て下さいね！



ひとり暮らし高齢者ふれあい事業『さくら会』

ひとり暮らし高齢者のみなさんの交流の場です。

交流 会食 リフレッシュ

- ★開催日：月1回
- ★場所：ゆうらいふ
- ★対象：町内の70歳以上のひとり暮らし高齢者

詳しい案内は、地域の民生委員さんを通じてお知らせします。

